
SHIN - MEN 短編集

ぽっきい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

SHIN - MEN 短編集

【コード】

N9240Z

【作者名】

ぼっきい

【あらすじ】

いつものんびりの5人組SHIN - MENのお気楽短編集。
お気楽にどうぞっ！

ビューの弱点(前書き)

いつもかっこいいビューが!?

ゴウ「なにになに?どうなるの?」

それは見てのお楽しみ!

ヒューの弱点

ゴウ「今日の夜シンメンハウスでだいかん大会をするゾ!!」

ゴウ以外「「「???」」」

スイ「もしかして…怪談大会って言いたいスイ？」

ゴウ「そうともいう」

いや…そうとしか言わないのだが…

ニヨキ「おもしろそうだYO!」

カン「たしかに自分もそういうのは好きだぜ!」

カ、カンまで乗り気になっている!? (汗)

ゴウ「じゃあ、今夜ってことで!」

い、嫌ダアアアアア!!!!!!!!

〜その夜〜

ゴウ「では、かんだい大会を始めるゾ!!」

3人「「「怪談だつっの!!!!」」」

アア…始まってしまった。わたしは皆に隠していたけれど実は怪談話が苦手なのだ!

カン「順番はどうするんだぜ？」

ニヨキ「言いだしたっぺのゴウから時計回りでよくNE?」

ヒュー「じ、じゃあゴウ、ニヨキ、スイ、カン、わたしの順になるのか」

スイ「じゃあまずゴウちゃんドゾ!」

ゴウ「ほっほい! いっくぞー!」

ひいひい!! 嫌ダ嫌ダ嫌ダアアアア!!!!!!!!

〈数時間後〉

カン「よしっ自分の怪談はこれで終わりだぜ！」

ニヨキ「あんまり怖くなかったNA、次はヒューさんの番だYO！」

ヒュー「…」

スイ「どうしたんだスイ？ヒューちゃん？」

ゴウ「お？」

ヒュー「ウウウツウウウウウウウウウウ（涙）」

4人（（泣いてるっ！？）（）（））

カン「どうしたんだヒュー！？」

どうしよウ…カンに心配されてル…でも怖いツツ！！！！

ヒュー「ウウ、皆…わたしは、わたしは…」

ゴウ「あ、ヒューさんの後ろに…」 冗談

ヒュー「ひいいいいいい！！！！いやだアアアアアアアア

！！！！！！（号泣）」

カン「…もしかしてヒューは怪談が苦手だったんじゃないかあ…」

3人「…あ、やっぱり？」「」「」

カン「気づいてたんかいっ！！！？？」

ゴウ「まあ、はなしている間ヒューさんずっと涙目だったしね…」

約1ヶ月間ヒューが暗いところにいられなかったのはまた別の話…

ヒューの弱点（後書き）

まさかヒューの弱点が怪談話とは…
次はカン！！

カンのプライド(前書き)

今回の主役は皆のアイドルカンちゃん!!!

カン「誰がアイドルだっ!?」

ヒュー「\ \ \ \ \」ドキドキ

それでは始まりい!!!

カンのプライド

ゴウ「…カンって身長どれくらい？」

カン「はあ？ な、何の事だかさっぱりだぜ？」

ニヨキ「確かにカンって身長低そうだな」

スイ「僕よりも小さそうなイメージあるでスイ」

ガン「！！まさかスイにまで言われるとはっ！！」

カン「…じつ自分は…ううう（涙目）」

3人（（うっ！？からかいすぎた？）（）（）

確かに…スーツを着ているから自分は大きく見えるけれど…

実際自分はスイよりも少し小さいのかもしれない

ヒュー「？ 何の話をしているのダ？」

カン「あ、ヒュー…自分はそんなにも小さいのか？」

ゴウ「ちいっさいよね」

ゴツ ゲンゴツの音

ヒュー「そんなことを平然と本人の前で言うナッツ！！！！」

…ヒュー、自分をかばってくれるのか？ やっぱり優しいやつだぜ。

ヒュー「ところで何の話をしていたのダ？」

ガクッ！！！！ 4人がこけた

結局ヒューは何にもわかってなかったようだな…

スイ「かくかくしかじかだスイ」

ヒュー「ほう…カン」

SHIN・MENハウスの冷蔵庫にしばらく大量の牛乳が入っている
たのは言つまでもない

カンのプライド（後書き）

カン「べつ別に自分は気にしてなんか……」
3人「してるしてる」

まあまあ、そんなに言わないの！
お次はニヨキ！！

ニヨキ「？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9240z/>

SHIN - MEN 短編集

2011年12月29日12時54分発行